

令和7年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。</p> <p>今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に出向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などの繋がりを強め推進を図ります。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	多職種連携し情報を集めながら、地域活動に出向き新たな支援者となって頂けそうな方を発掘。また支援者となって頂けそうな方を区のフレイル予防サポーター養成研修等にお誘いし、活動の場に繋がる様支援する。また地域の方が活躍できる講座の事業を企画する。
■	<input type="checkbox"/>	今年度は、男性支援者がいよいよウォーキングサポーターとして地域の方々を入れウォーキングの事業化を行っていく。
■	<input type="checkbox"/>	チームオレンジの取り組みとして、認知症サポーター養成講座後のステップアップ講座を開催する。介護の当事者でもある保健師を講師に招き、「認知症の方への支援」を講義頂く。講座参加者から新たにオレンジボランティアとして活動してくれる人を増やす。
■	<input type="checkbox"/>	医療依存が高い方や終末期ケアが必要なケースについて、ケアマネジャーから相談があった場合には、サービス担当者会議やカンファレンスの開催を積極的に促し参加し、チームケアとなるよう働きかける。
■	<input type="checkbox"/>	滝頭地区においては子ども大人も含め、滝頭連合で取り組める事業を行えるよう支援をしていく。岡村地区については個人宅の提供なども含め居場所づくりに視点をおき、地域でのサロンなどが活発になるよう関係機関と協働していく。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		